立命館經濟學

第二十三巻　第五・六号

昭和五十年二月

内　　容

論　　説

遠慮近憂の商法と用心の経営……………………足立政男　1
　——近世における老舗の家訓から見た——

国有林における労働組織の形成と展開(二)……………………奥地　正　28
　——東北、秋田国有林を中心に——

研　　究

第二次大戦後の米国における産業循環の法則と
　各局面の形態について……………………田中宏道　64

コンビナート社外工労働者の集積基盤……………………伍賀一道　105

翻　　訳

張　世英『ヘーゲルの論理学』……………………小野　進　145

共同研究室……………………188

立命館大学経済学会

立命館経済学　第二十三巻・第三号

論説

『独占資本主義分析』試論……甲賀光秀

研究

タイ地主制下の米価問題……田坂敏雄

紹介

A・ライオンフーフト『ケインズ派経済学とケインズの経済学』(二)……小野進
——貨幣理論の研究——

翻訳

パルヴス『世界市場と農業恐慌』(一)……大藪輝雄
鈴木敏正
共同研究室

発行所　立命館大学経済学会

立命館経済学　第二十三巻・第四号

論説

国有林における労働組織の形成と展開(一)……奥地正
——東北・秋田国有林を中心に——

現代巨大企業の生産機構……坂本和一

研究ノート

県民所得統計の発展と県民所得標準方式(終)……後藤文治

翻訳

パルブス『世界市場と農業恐慌』(二)……大藪輝雄
鈴木敏正

国家独占資本主義におけるブルジョア経済学の機能……振津純雄

共同研究室

発行所　立命館大学経済学会